

議会便り 第3号 (1-3) 市内①

平成16年1月1日発行
東堂陽一 Tel. 23-3091

明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。
さて、昨年は市政においても、実に盛りだくさんの話題がありましたが、
その中から、私なりに重大(10大)ニュースを選んでみました。

I. 昨年の市政重大ニュース

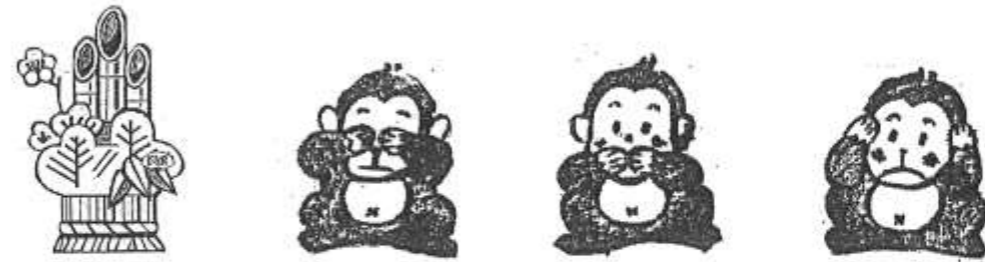
- ① 1市2町の合併協議進む
- ② New!わかふじ国体、続いてわかふじ大会開催される(10、11月)
- ③ 総合体育館「さんりーな」完成(9/18)
- ④ 県議選、市議選(定数27から24人に減、31人立候補)、衆院選行わる
- ⑤ 市街地循環バス(スローライフバス、100円バス)スタート(5/17)
- ⑥ 「清水プロジェクト」=環境資源ギャラリー(新焼却場)着工、新エコポリス造成進む
- ⑦ 中学校給食始まる(9/2)
- ⑧ 乳幼児センター「すこやか」開園(4/2)
- ⑨ 男女共同参画条例「男女がともにつくる安心とゆとりの掛川条例」施行(7/1)
- ⑩ ならここの湯開館(9/28)

(補足：市町村合併)

9月議会で、法で定める「掛川市・大東町・大須賀町合併協議会」
の設置が承認されました。すでに

- ① 1市2町の対等合併
- ② 新市役所は現掛川市役所に置く
- ③ 新市名は「掛川市」に決定
- ④ 合併の期日(平成17年3月28日)
- ⑤ 各種委員の定数・任期(市会議員の定数は30人)

などが決まっています。全部で1,832項目に及ぶ調整も進んでいます。



市会議員の定数、合併の期日については随分と議論がなされ、
難航しました。特に合併期日は何回かの継続協議を経ても決まらず、
この議題のために開かれた12月2日の臨時合併協議会でようやく
決着しました。午後7時に始まった会議は深夜の12時近くに及びま
した。平成17年3月28日案と、平成17年1月24日案とに意見が分
かれ、様々な角度からの議論がおこなわれましたが、協議は平行線
をたどり、なかなか合意を見ることが出来ず、異例の多数決による決
着となりました。この結果、大須賀町は大須賀町議選と新市の市議
選を3ヶ月間に2回行うことになり、大きな負担を掛けることになり
ます。まことに申し訳のないことですが、それ以上の合併効果が得られ
るように、真摯な努力をしなければなりません。

さて、合併協議会で今検討されている主なことに、新市建設計画が
あります。新市建設計画(素案)の中の重点プロジェクトとして

- ① 新市融合に向けた南北幹線道路と交通システムの整備
- ② 総合健康センター(仮称)の整備
- ③ 市民活動支援体制と支援基盤となる地域公共施設間ネットワークの拡大

が検討されています。新市建設計画については、3月から4月頃に住
民説明会が行われる予定です。

さらに、今年の大きな政治課題として、新市の市長をどうするか
という問題が浮上してきます。人口11万超の新市のリーダーです。
皆様の意見も聞きながら慎重に考えていきたいと思えます。

◆うら面もあります◆

◆前のページの続きです◆

II. 今年の掛川市の主要課題

今年の掛川市の主要課題としては、引き続き合併問題があります。どんなまちづくりを目指すのか、新都市ビジョン、新市建設計画に注目していく必要が有ります。

また今年には市政施行50周年の節目の年でもあります。お祝いの記念事業シリーズとして、下記の様なことが検討されています。

更に、市の三大プロジェクトとして、中心市街地活性化・駅前再開発ビル、満水プロジェクト(環境資源ギャラリー(新焼却場)、新エコポリス、22世紀の丘公園)、日坂道の駅の構想設計も進んでいくものと思われまます。

市政50周年記念事業候補(全22事業案の内11案)

- ① スローライフ街道・塩の道シンポジウム
- ③ スローエイジング表彰(90歳以上のお年寄り対象)
- ⑤ 満水リサイクルプラザの建設
- ⑥ 22世紀の丘公園の設計
- ⑦ 駅前再開発ビルの設計
- ⑩ 25回実施した市民総代会地区集会の交流控帖地域別編集
- ⑪ 報徳社大講堂の修復
- ⑬ 道の駅と歌枕公園の設計・着工
- ⑮ 絵画公募展(二の丸美術館)
- ⑳ 論文等文学作品の募集
- ㉑ 屋台・獅子の祝賀パレード

III. 2学期制始まる

平成16年度、17年度に一部の小・中学校で試行した後、平成18年度から、現市内全部の小・中学校で実施します。

平成16年度よりの試行校

- 逆川中学区 逆川中学校、日坂小学校、東山口小学校
北中学区 北中学校、原泉小学校、倉真小学校、西郷小学校、城北小学校
その他学区 中央小学校、第二小学校

試行校以外でも準備のできた学校は17年度から実施できるとされています。この話が最初に出たのは去年の6月で、年末には報告書が完成したということで、手際の良い(?)仕事だったと思います。

学校教育を巡る厳しい状況を打破しようとする教育改革の一つの手段として、また「ゆとり」のなかで「生きる力」をはぐくむために、「ゆとり」を生み出すための制度としての導入です。
”2学期制は「例年」や「季節」に縛られない、教育目標を描く白きキャンパス”という言葉に期待をするものです。

IV. 12月議会での私の一般質問

- ① 合併の新市建設計画において住民意見の反映機会を設けることについて
新市の財政規模、見通しについて
- ② 地域の景観の形成・維持について
ごみの不法投棄について
- ③ 小中学生の連れ去り事件等の対策について
- ④ イノシシによる被害急増対策について

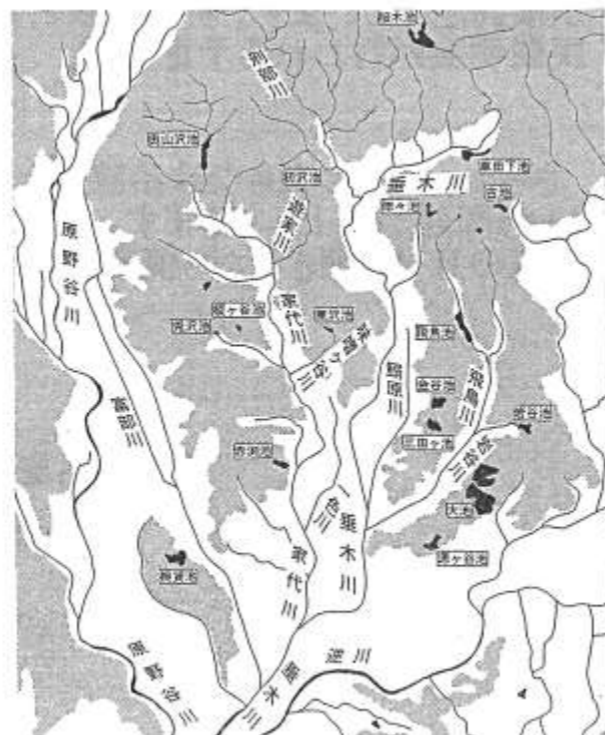
以上、4つの問題について市当局の考えを質しました。

V. 最後に

今年は申年です。私は48歳の年男になります。市政に対して見ざる、言わざる、聞かざる、ということにならないよう、積極的に見て、聞いて、意見を述べていきたいと思ひます。皆様もどしどし意見をお寄せください。今年も一年、よろしくお願ひいたします。

(まめ知識) 桜木の河川とため池

桜木地区をはじめ掛川市内の稲作が盛んな地域においては、多量の水が必要で、垂木川のような流域能力の低い川では渇水期の水不足が問題でした。この問題の解消のために、戦国時代から近世にかけてため池が盛んにつくられました。現在、市内には246、桜木地内には44池があり市内でも最もため池の多い地区です。



議会便り 第3号 (1-3) 桜木①

平成16年 1月 1日発行
東堂陽一 Tel. 23-3091



明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひいたします。さて、昨年は市政においても、実に盛りだくさんの話題がありましたが、その中から、私なりに重大(10大)ニュースを選んでみました。

I. 昨年の市政重大ニュース

- ① 1市2町の合併協議進む
- ② New!わかふじ国体、続いてわかふじ大会開催される(10、11月)
- ③ 総合体育館「さんりーな」完成(9/18)
- ④ 県議選,市議選(定数27から24人に減、31人立候補),衆院選行わる
- ⑤ 市街地循環バス(スローライフバス、100円バス)スタート(5/17)
- ⑥ 「満水プロジェクト」=環境資源ギャラリー(新焼却場)着工、新エコボリス造成進む
- ⑦ 中学校給食始まる(9/2)
- ⑧ 乳幼児センター「すこやか」開園(4/2)
- ⑨ 男女共同参画条例「男女がともにつくる安心とゆとりの掛川条例」施行(7/1)
- ⑩ ならここの湯開館(9/28)

(補足：市町村合併)

9月議会で、法で定める「掛川市・大東町・大須賀町合併協議会」の設置が承認されました。すでに

- ① 1市2町の対等合併
- ② 新市役所は現掛川市役所に置く
- ③ 新市名は「掛川市」に決定
- ④ 合併の期日(平成17年3月28日)
- ⑤ 各種委員の定数・任期(市会議員の定数は30人)

などが決まっています。全部で1,832項目に及ぶ調整も進んでいます。

市会議員の定数、合併の期日については随分と議論がなされ、難航しました。特に合併期日は何回かの継続協議を経ても決まらず、この議題のために開かれた12月2日の臨時合併協議会でようやく決着しました。午後7時に始まった会議は深夜の12時近くに及びました。平成17年3月28日案と、平成17年1月24日案とに意見が分かれ、様々な角度からの議論がおこなわれましたが、協議は平行線をたどり、なかなか合意を見ることが出来ず、異例の多数決による決着となりました。この結果、大須賀町は大須賀町議選と新市の市議選を3ヶ月間に2回行うことになり、大きな負担を掛けることとなります。まことに申し訳のないことですが、それ以上の合併効果が得られるように、真摯な努力をしなければなりません。

さて、合併協議会で今検討されている主なことに、新市建設計画があります。新市建設計画(素案)の中の重点プロジェクトとして

- ① 新市融合に向けた南北幹線道路と交通システムの整備
- ② 小笠山の自然を生かした交流広場の整備
- ③ 総合健康センター(仮称)の整備
- ④ 市民活動支援体制と支援基盤となる地域公共施設間ネットワークの拡大

が検討されています。新市建設計画については、3月から4月頃に住民説明会が行われる予定です。

さらに、今年の大きな政治課題として、新市の市長をどうするかという問題が浮上してきます。人口11万超の新市のリーダーです。皆様の意見も聞きながら慎重に考えていきたいと思ひます。

◆うら面もあります◆

◆前のページの続きです◆

II. 今年の掛川市の主要課題

今年の掛川市の主要課題としては、引き続き合併問題があります。どんなまちづくりを目指すのか、新都市ビジョン、新市建設計画に注目していく必要が有ります。

また今年には市政施行50周年の節目の年でもあります。お祝いの記念事業シリーズとして、下記の様なことが検討されています。

更に、市の三大プロジェクトとして、中心市街地活性化・駅前再開発ビル、満水プロジェクト(環境資源ギャラリー(新焼却場)、新エコポリス、22世紀の丘公園)、日坂道の駅の構想設計も進んでいくものと思われます。

市政50周年記念事業候補(全22事業案の内11案)

- ① スローライフ街道・塩の道シンポジウム
- ③ スローエイジング表彰(90歳以上のお年寄り対象)
- ⑤ 満水リサイクルプラザの建設
- ⑥ 22世紀の丘公園の設計
- ⑦ 駅前再開発ビルの設計
- ⑩ 25回実施した市民総代会地区集会の交流控帖地域別編集
- ⑪ 報徳社大講堂の修復
- ⑬ 道の駅と歌枕公園の設計・着工
- ⑮ 絵画公募展(二の丸美術館)
- ⑳ 論文等文学作品の募集
- ⑳ 屋台・獅子の祝賀パレード

(まめ知識) 桜木の河川とため池

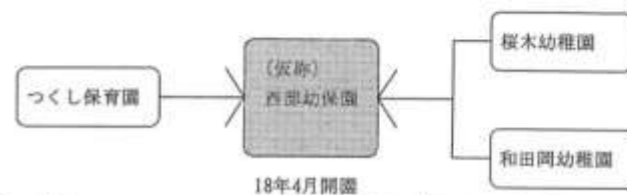
桜木地区をはじめ掛川市内の稲作が盛んな地域においては、多量の水が必要で、垂木川のような流域能力の低い川では渇水期の水不足が問題でした。この問題の解消のために、戦国時代から近世にかけてため池が盛んにつくられました。現在、市内には246、桜木地内には44池があり市内でも最もため池の多い地区です。



III. 今年の桜木の主要課題

今年の桜木地区の主要課題としては、

- ・道路問題…… 市道中横断線(広域農道北小笠線) 桜木中央線(長谷桜木線) 原里大池線、杉谷家代線など
- ・(仮称)西部幼保園……家代の里に幼保園の計画が本格化
16年度基本設計・実施設計
17年度施設整備
18年4月開園
これに伴い現桜木幼稚園は廃園となります。



- ・垂木川の改修の促進

などが挙げられます。

IV. 12月議会での私の一般質問

- ① 合併の新市建設計画において住民意見の反映機会を設けることについて
新市の財政規模、見通しについて
- ② 地域の景観の形成・維持について
ごみの不法投棄について
- ③ 小中学生の連れ去り事件等の対策について
- ④ イノシシによる被害急増対策について

以上、4つの問題について市当局の考えを質しました。

V. 最後に

今年申年です。私は48歳の年男になります。市政に対して見ざる、言わざる、聞かざる、ということにならないよう、積極的に見て、聞いて、意見を述べていきたいと思ひます。皆様もどしどし意見をお寄せください。今年も一年、よろしくお願いいたします。